

第11回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日 時 令和6年12月23日（月）15:00～17:00

場 所 周南市役所 多目的室（シビックプラットホーム1階）※WEB併用

出席者 【構成員】（敬称略）

藤井 律子 周南市長

辻 佳子 公益社団法人化学工学会
地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員長

東京大学環境安全研究センター 教授

太田 義彦 出光興産株式会社

執行役員 徳山事業所長

吉水 昭広 東ソ一株式会社

南陽事業所 取締役 常務執行役員 事業所長

奥野 康 株式会社トクヤマ

常務執行役員 徳山製造所長

内田 俊彦 日鉄ステンレス株式会社

製造本部 山口製造所 執行役員 山口製造所長

宮城 孝一 日本ゼオン株式会社

徳山工場 執行役員工場長

【オブザーバー】（敬称略）

土屋 博史 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長

鈴木 純 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長
(代理出席)

国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所
企画調整課 課長 荒木 達也

塙田 源一郎 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

地球温暖化対策事業室 室長

難波 良多 林野庁 林政部 木材利用課 課長

岩本 康彦 山口県産業労働部 理事 産業脱炭素化推進室長
(代理出席)

山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査 勢登 俊明

稻葉 和也 周南市水素利活用協議会 会長

山口大学大学院技術経営研究科 教授

福代 和宏 周南市木質バイオマス材利活用推進協議会 会長

山口大学大学院技術経営研究科 教授

【補佐人】(敬称略)

石戸 利典	公益社団法人化学工学会 株式会社 IHI エグゼクティブフェロー
阿尻 雅文	公益社団法人化学工学会 東北大学 材料科学高等研究所 教授
藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
水口 能宏	公益社団法人化学工学会 日揮ホールディングス株式会社 執行役員 CTO サステナビリティ協創ユニット
池田 卓弥	公益社団法人化学工学会 地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員
新美 雄太郎	公益社団法人化学工学会 地域連携カーボンニュートラル推進委員会 委員
今井 博文	出光興産株式会社 製造技術部 担当部長
上村 啓治	出光興産株式会社 CNX 戦略室 CNX 企画課 担当マネジャー
深澤 有紀	出光興産株式会社 CNX 戰略室 CNX 企画課
渡辺 宏	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 担当マネジャー
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
松村 善則	東ソー株式会社 南陽事業所 執行役員 副事業所長 兼 CO2削減・有効利用 南陽タスクフォースチームリーダー
徳田 友幸	東ソー株式会社 南陽事業所 CO2削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
鈴川 博之	東ソー株式会社 南陽事業所 CO2削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
佐田 純一	東ソー株式会社 南陽事業所 CO2削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
久保山 洋	東ソー株式会社 南陽事業所 CO2削減・有効利用 戰略室 GL
末本 裕貴	東ソー株式会社 CO2削減・有効利用 戰略室
松本 和也	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室 GL

志賀 和宏	東ソー株式会社 南陽事業所 技術センター 生産技術室
井上 裕司	株式会社トクヤマ 執行役員 カーボンニュートラル戦略本部長
大森 一幸	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 兼 工場企画運営グループ 主幹
小松 康尚	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
中本 達也	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主幹
佃 宣和	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 生産技術室長
棚田 裕一郎	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 総務室長
伊崎 弘	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 設備部上席主幹
大嶋 貴之	日鉄ステンレス株式会社 製造本部 山口製造所 生産技術室主幹
平川 宏之	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部門長
渋谷 智啓	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部 理事顧問
泉水 慶太	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル推進室長
本間 彰	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長 兼 脱炭素推進準備室長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場 脱炭素推進準備室
菅原 充	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル研究開発推進室

【陪席・随行】(敬称略)

村松 雄太	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
菊池 春歌	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
有間 光	経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長
蝶野 雅敏	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
山崎 将弘	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
閑田 英敬	経済産業省 中国経済産業局
内海 盛之	資源エネルギー環境部 電源開発調整官
原田 昌子	経済産業省 中国経済産業局
藤村 悠司	資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課長 経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長補佐 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 港湾保安調査官

常数 浩二	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長
山口 慎介	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐
今井 遥圭	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 係員
西山 弘樹	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 企画調整係長
山内 勇樹	林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス係長

【事務局及び関係課】

道源 敏治	周南市副市長
荒美 雅丈	周南市産業振興部 部長
吉村 渉	周南市産業振興部 次長 兼 商工振興課 課長
周山 健太郎	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長
山根 正敬	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長補佐
井尻 帆乃香	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
松元 悠生花	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
川口 洋司	周南市企画部 部長
今井 努	周南市企画部 企画課 企画担当
齊藤 康紀	周南市環境生活部 部長
田内 正彦	周南市環境生活部 環境政策課 課長

議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副会長あいさつ
- 4 議事

(1) 事務連絡事項

- ① 徳山駅南北自由通路タペストリーの設置について
- ② 南陽工業高等学校「総合的な探求の時間」の授業について
- ③ 高校生を対象とした出前授業の開催について

(2) 報告事項

- ① ワーキンググループの議論について
- ② 各チームの進捗について

(3) その他

5 閉会

1. 開会

(事務局)

それでは、ただいまから、第 11 回周南コンビナート脱炭素推進協議会を開催します。

私は、本日、進行を務めます、周南市産業振興部次長の吉村と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、次第のとおり進行し、終了時間は 17 時予定です。

本来であれば、御出席の皆様を御紹介するところでございますが、時間の関係上、事前に送付しております出席者名簿と配席図をもちまして、御紹介に代えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、御案内のとおり、次第 4. 議事（1）事務連絡事項についてまでの部分公開とさせていただきます。また、本日の協議会は令和 6 年 2 月 15 日に公正取引委員会から公開されました回答に基づき運営されることを申し添えます。

それでは、開会にあたり、会長及び副会長から挨拶をいただきたいと存じます。最初に、会長の藤井市長、よろしくお願ひいたします。

2. 市長あいさつ

(会長)

皆様、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。

本日は、年末の大変御多用のところ、第 11 回周南コンビナート脱炭素推進協議会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本協議会におきましては、「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」の実現に向けて、各チームが主体的に、課題の精査や新たな技術導入などの議論をなされているところです。

本年 2 月に公正取引委員会からカーボンニュートラル実現に向けた共同行為について独占禁止法上問題がないとの回答をいただいて以降、NEDO 調査事業「周南コンビナートにおける産業間連携カーボンリサイクル事業の実装に向けた調査」、「周南地区アンモニア広域供給拠点、域内パイプライン整備及び燃焼設備検討事業」の採択など、皆様との連携により、より具体的な検討が進められております。

また、10 月には水素社会推進法が施行されるなど、今後、アンモニア等の利活用に向けた取組が、さらに加速していくものと認識しております。

本日は、各チーム主査から検討事項や進捗状況についてお示しをさせていただきます。

オブザーバーの皆様方には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見などを頂戴できれば幸いでございます。

「2050年を乗り越えられる周南市になる」本市のパーカス、そして2050年カーボンニュートラルコンビナートの実現に向けて積極的にチャレンジしてまいりますので、引き続き、皆様の御理解、御協力を願い申し上げ、開会のあいさつといたします。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、副会長の公益社団法人化学工学会の辻佳子様、よろしくお願ひします。

3. 副会長挨拶

(副会長)

協議会としては半年ぶりの開催ですが、その間動きが止まっていたわけではなく、ワーキンググループや各チームの検討を進めてきました。

今日は進捗状況を各チームから説明しますが、私たちは世界の中の日本、日本の中の周南コンビナートの位置づけを考えて、エネルギーと物質循環の両方の視点で議論をしてきておりますが、地域の中だけの議論ではなく、これからは地域間の連携の議論も必要になります。世界に向けて方法論を確立し、カーボンニュートラルなコンビナートを達成し、そして、周南市の中で新しい産業が生まれ、真に持続可能なまちになることを目指して引き続き皆様と一緒にやっていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

今日はオブザーバーの方々に御参加いただいておりますので、是非様々なアドバイスをいただき、今後の議論に繋げていきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願ひします。

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行でございますが、協議会規約第6条第2項「総会の議長は会長をもつてこれに充てる」によりまして、進行を会長である藤井市長にお願いいたします。

4. 議事

(1) 事務連絡事項

(会長)

それでは、早速ですが議事に入ります。

まず、議事(1)事務連絡事項でございます。次第の①から③について、事務局から説

明をお願いします。

(事務局)

① 徳山駅南北自由通路タペストリーの設置について

まず、徳山駅南北自由通路タペストリーの設置についてです。

11月末から、周南コンビナートにおけるカーボンニュートラルの取り組みを広く周知するため、徳山駅南北自由通路にタペストリーを掲示しています。

デザインと現地の写真は御覧のとおりで、タペストリーは2種類のデザインを作成し、それぞれ表裏にプリントしたものを5枚掲示しました。

現在のところ、来年3月末まで掲示を行う予定です。徳山駅を御利用の際は是非、御覧ください。

② 南陽工業高等学校「総合的な探求の時間」の授業について

次に、南陽工業高等学校の「総合的な学習の時間」の授業についてです。

南陽工業からの要請で、今月の16日から18日の3日間、「カーボンニュートラルの取組について」をテーマとし、1年生は機械システム科、電気科、応用化学科の全学科、3年生は機械システム科の授業で、講演とワークショップを行いました。

周南コンビナートの取組等について紹介した後のワークショップでは、「カーボンニュートラルについて関心を持ってもらうための取組」について生徒たちに考えてもらいました。

発表してもらった意見としては、

- ・省エネや植林活動
- ・SNSなどのメディアによる啓発
- ・高校生による小・中学生への出前授業
- ・文化祭での発表展示
- ・キャラクターブック

などがあり、生徒は真剣にアイデアを出し合っていました。

カーボンニュートラルについてもっと詳しい事を知りたいという生徒も多く、今後も要望に応じて継続していきたいと考えています。

③ 高校生を対象とした出前授業の開催について

最後に、高校生を対象にした出前授業の開催についてです。

この取組につきましては、次世代を担う、特に高校生を対象に、化学工学の視点によるカーボンニュートラル社会に関する事柄などを知っていただき、生徒同士が議論する場を設けることを目的に令和4年度から実施しているものです。

令和6年度につきましては、市内県立高校のうち2校を予定しており、

- ・1月10日の金曜日に徳山高校部活動の科学部、
- ・2月12日の水曜日に南陽工業の応用科学コース2年生

を対象に、辻副会長に現地にお越しいただき、「みんなで考えるカーボンニュートラル社会」と題した御講演をいただくことにしております。

こうした取り組みを通じて、引き続き、将来を担う若い世代に対する、カーボンニュートラルへの機運醸成、啓発を図ってまいりたいと考えております。

(会長)

ただいまの事務局からの説明について、御意見・御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

—意見・質問なし—

それでは、御質問等ないようですので、次に進みます。

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前に御案内させて頂きましたおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。大変申し訳ありませんが、御退出をお願いします。